

2. 市民・利用者等のニーズ把握

2. 1 アンケート調査の実施概要

(1) 実施目的

アンケート調査実施の目的は、JR可部線の沿線住民や従業者、利用者の意見などを把握することで、JR可部線や路線バスの課題点、及び今後の利用促進施策の検討の際の基礎資料とするものである。

(2) アンケート調査の種類と配布枚数

今回実施したアンケート調査は、以下に示す3種類である。

表 2.1 アンケート調査の実施概要

	実施の概要	配布枚数
沿線住民 アンケート	【配布方法】 ・ 河戸・亀山地区、可部地区、佐東地区の協議会を通じて住民へ配布。 【回収方法】 ・ 各協議会が回収。一部、郵送で回収。	河戸・亀山地区：200枚 可部地区：200枚 佐東地区：200枚 ※合計：600枚
沿線企業 アンケート	【配布方法】 ・ 沿線の企業・組織を抽出し調査票を送付。 【回収方法】 ・ 各企業・組織毎に回収し、まとめて返送。	17社 ※各社に、企業用1枚、個人用20枚を配布
JR可部線利用者 アンケート	【配布方法】 ・ 主要駅にて調査員が手渡しで配布（H21年2月13日に実施15時～19時） 【配布方法】 ・ 方法1：駅に設置した回収箱への投函。 ・ 方法2：郵送回収	安芸長束駅：200枚 下祇園駅：200枚 大町駅：200枚 緑井駅：400枚 可部駅：400枚 ※合計：1400枚

(3) 回収率

アンケート調査票の回収率は、次のとおりである。

表 2.2 アンケート調査票の回収率

	配布枚数	回収枚数	回収率
沿線住民アンケート	600枚	541枚	90.2%
沿線企業アンケート ※企業票(個人票)	17社(340枚)	9社(120枚)	52.9%(35.3%)
JR可部線利用者 アンケート	1400件	283件	20.2%

2.2 回答者の属性

各アンケート調査の回答者の属性は、次のとおりである。

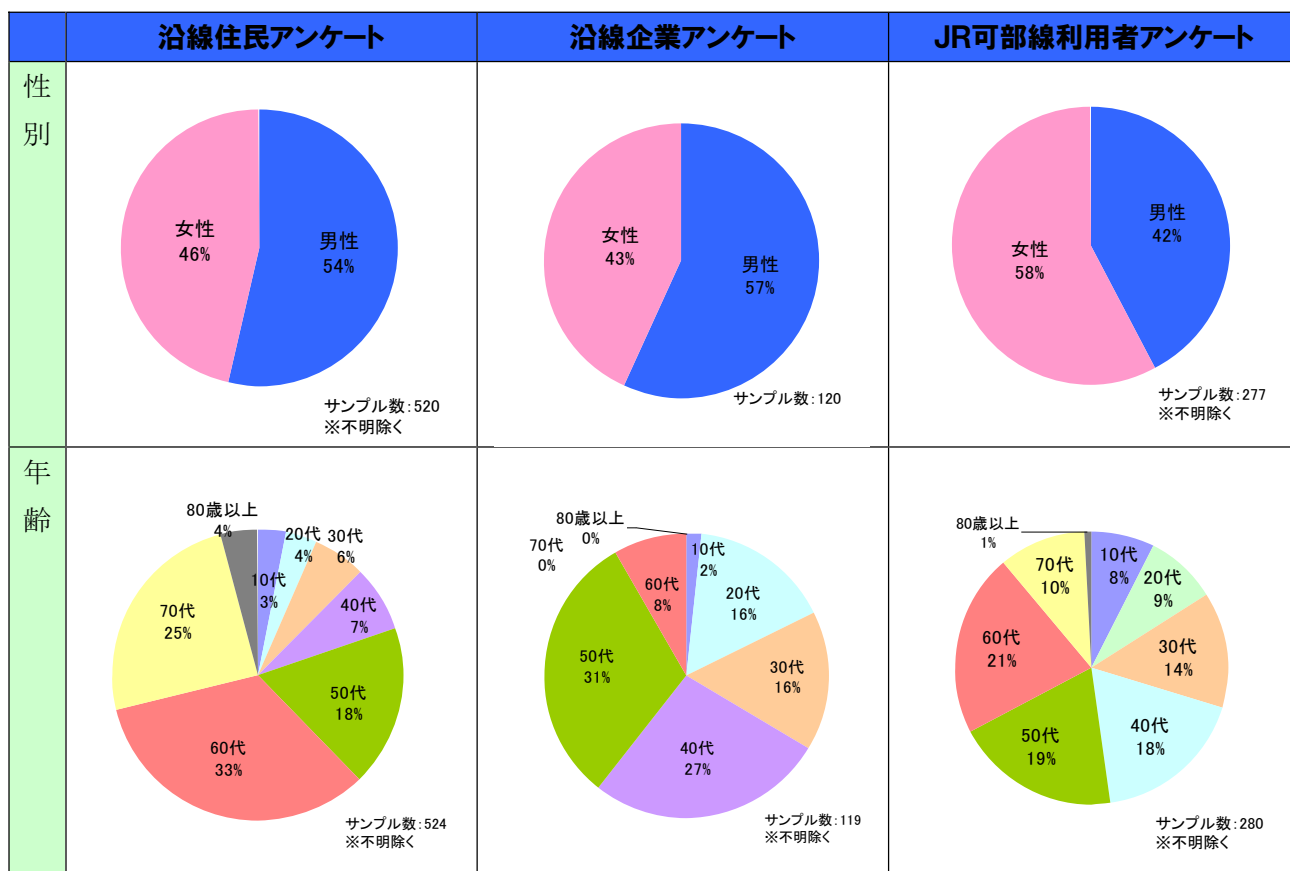


図 2.1 回答者の属性(性別・年齢)

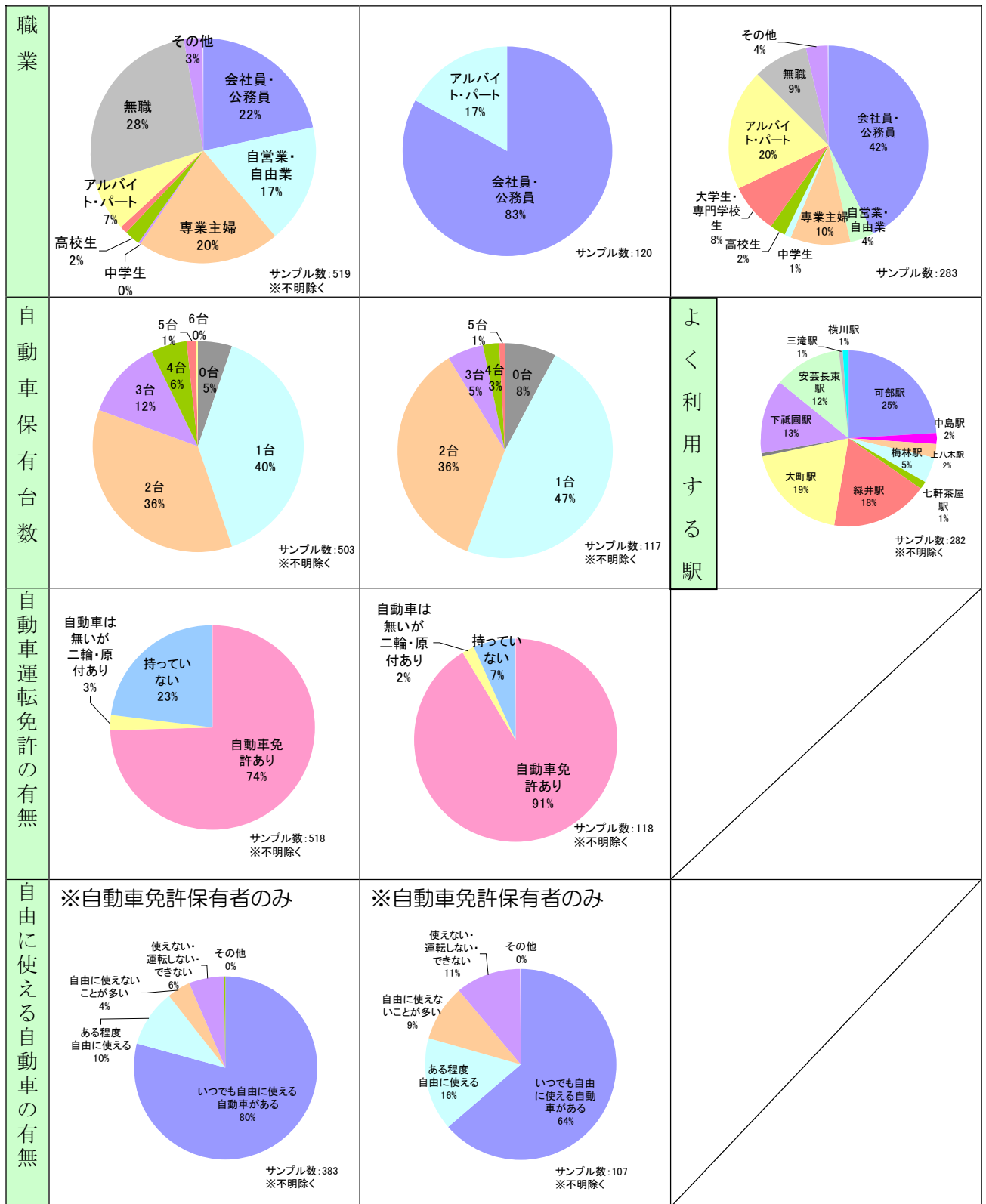


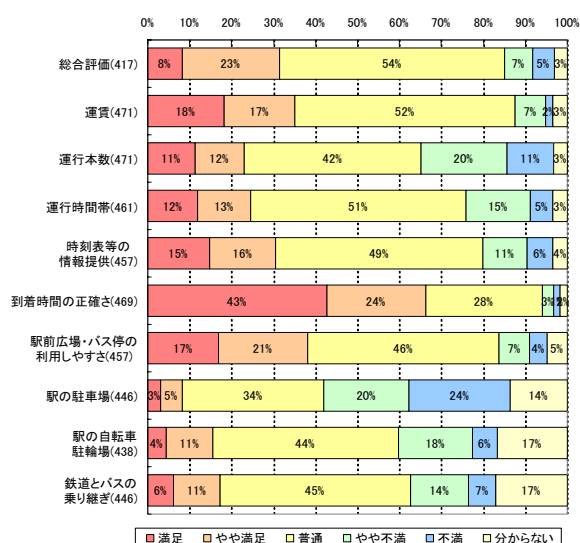
図 2.2 回答者の属性（職業・自動車利用環境等）

2. 3 アンケート集計結果

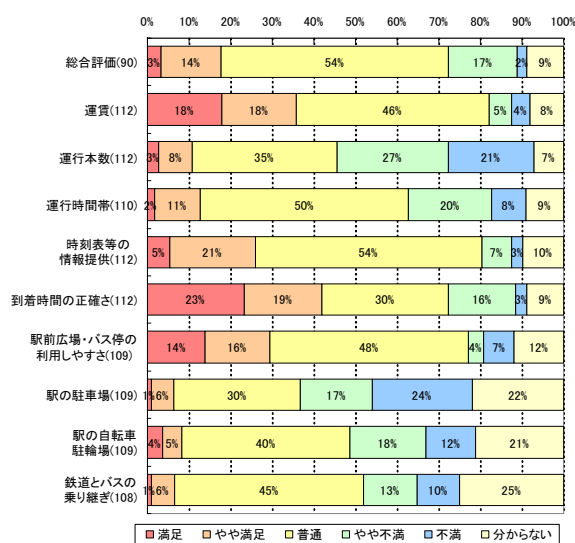
(1) JR可部線の満足度

- 総合評価では、若干、「満足・やや満足」が「不満・やや不満」を上回っており、3種類の調査の中では、特にJR可部線利用者アンケートの満足度が高い。
- 項目別では、3種類の調査ともに、「到着時間の正確さ（定時性）」や「運賃」に対する満足度が高い。
- 一方で、「運行本数」や、「駅の駐車場」に対する満足度が比較的低い。

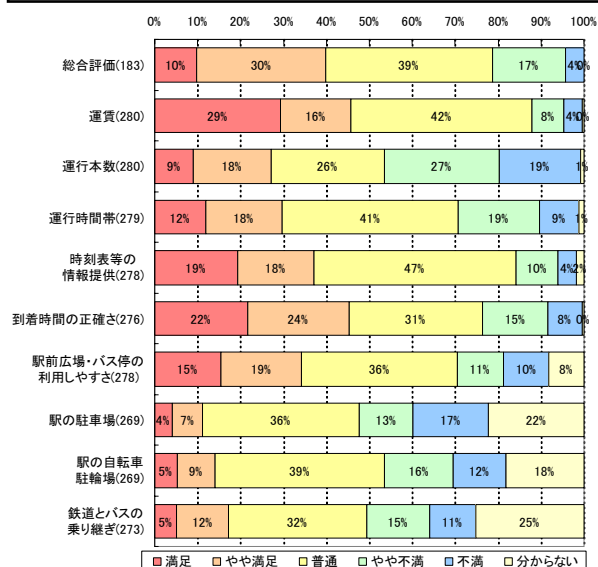
沿線住民アンケート



沿線企業アンケート



JR可部線利用者アンケート



- ～満足度を確認した項目～
- ①総合評価
 - ②運賃
 - ③運行本数
 - ④運行時間帯
 - ⑤時刻表等の情報提供
 - ⑥到着時間の正確さ
 - ⑦駅前広場・バス停の利用しやすさ
 - ⑧駅の駐車場
 - ⑨駅の自転車駐輪場
 - ⑩鉄道とバスの乗り継ぎ

※不明は除く

※各項目の()内は、サンプル数を示す

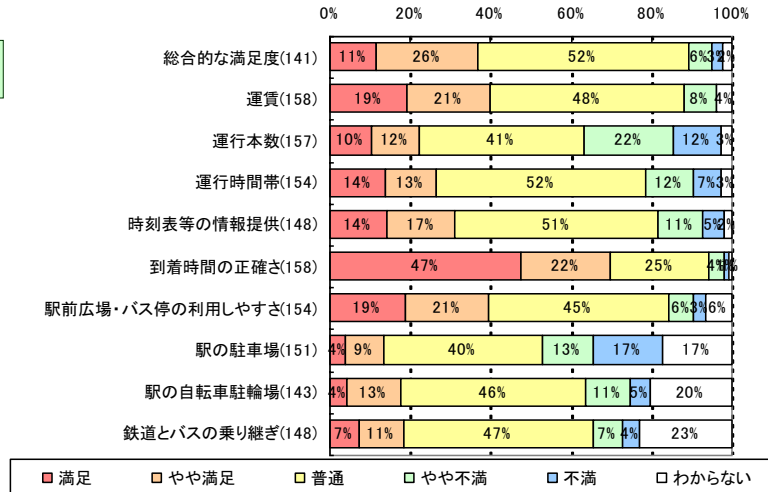
注意) 沿線住民アンケートおよび沿線企業アンケートでは、「鉄道の満足度」として質問している

図 2.3 JR可部線の満足度

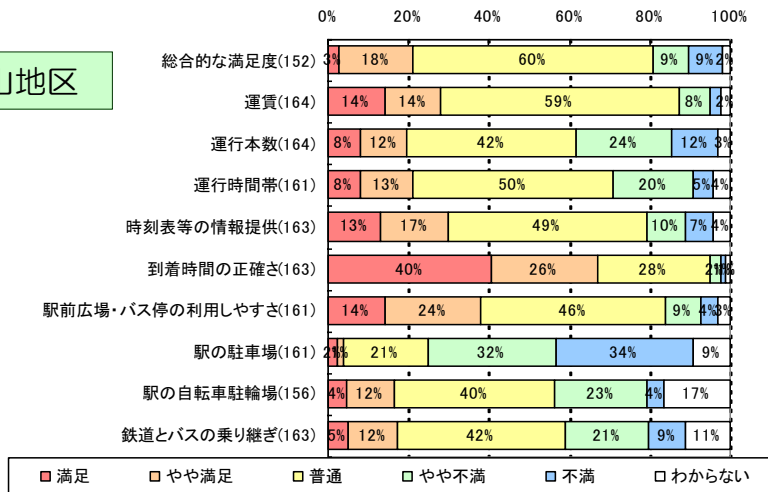
○居住地別では、亀山・河戸地区の満足度が比較的低く、またさらに駅の駐車場に対する不満が特に大きいことが分かる。

沿線住民アンケート

可部地区



河戸・亀山地区



佐東地区

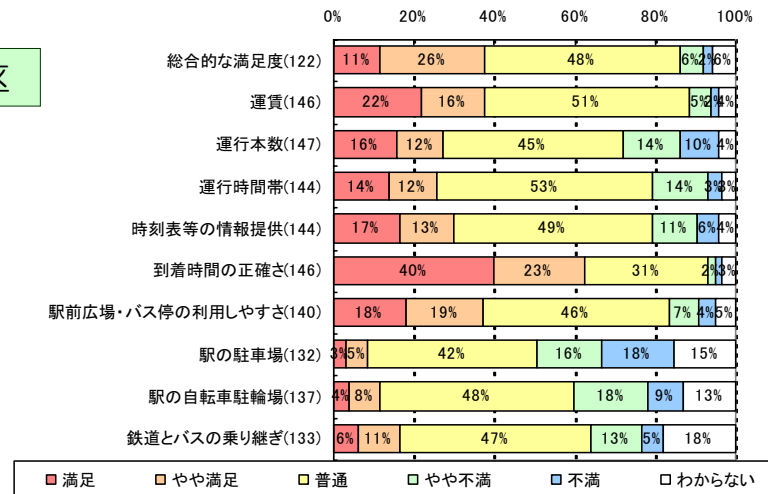


図 2.4 JR可部線の満足度（居住地別）

(2) JR可部線の利用促進策

○有効な利用促進施策としては、「朝夕および昼間での増便」や「可部駅北側の電化延伸」、「駐車場や自転車駐輪場の整備」、また「最終時間を遅くする」の意見が多い。

沿線住民アンケート

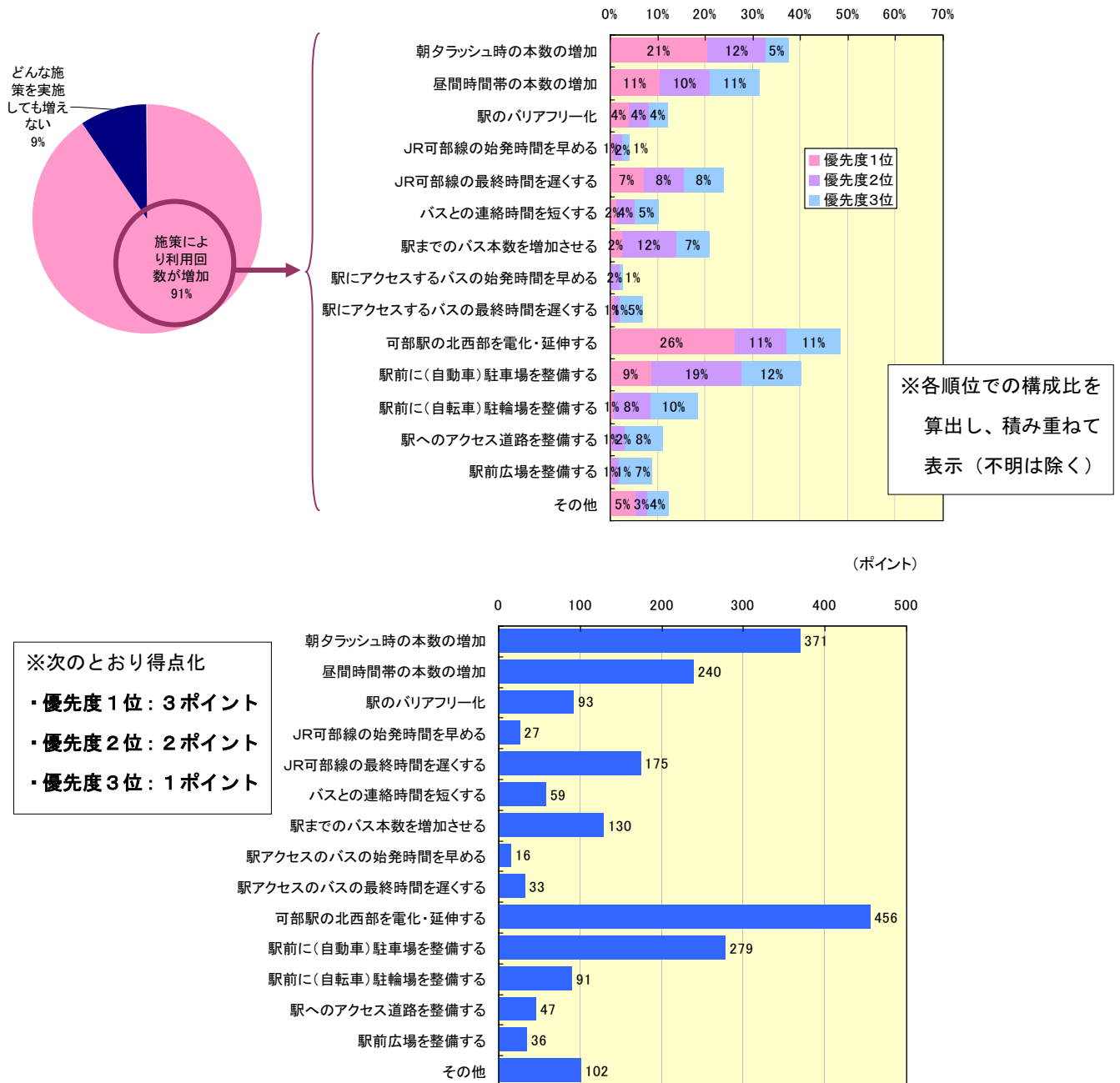


図 2.5 JR可部線の利用促進で有効な施策(沿線住民アンケート)

沿線企業アンケート

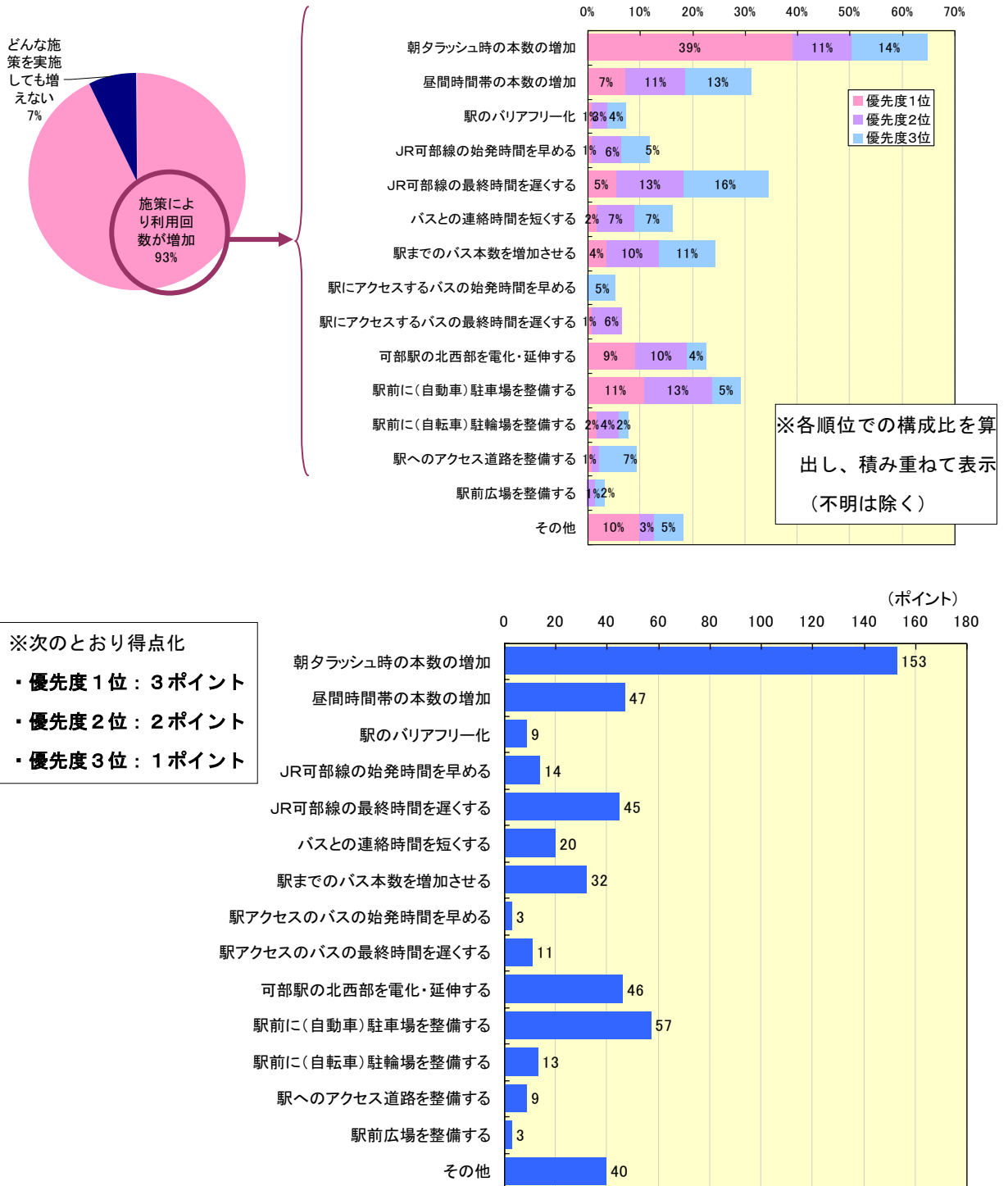
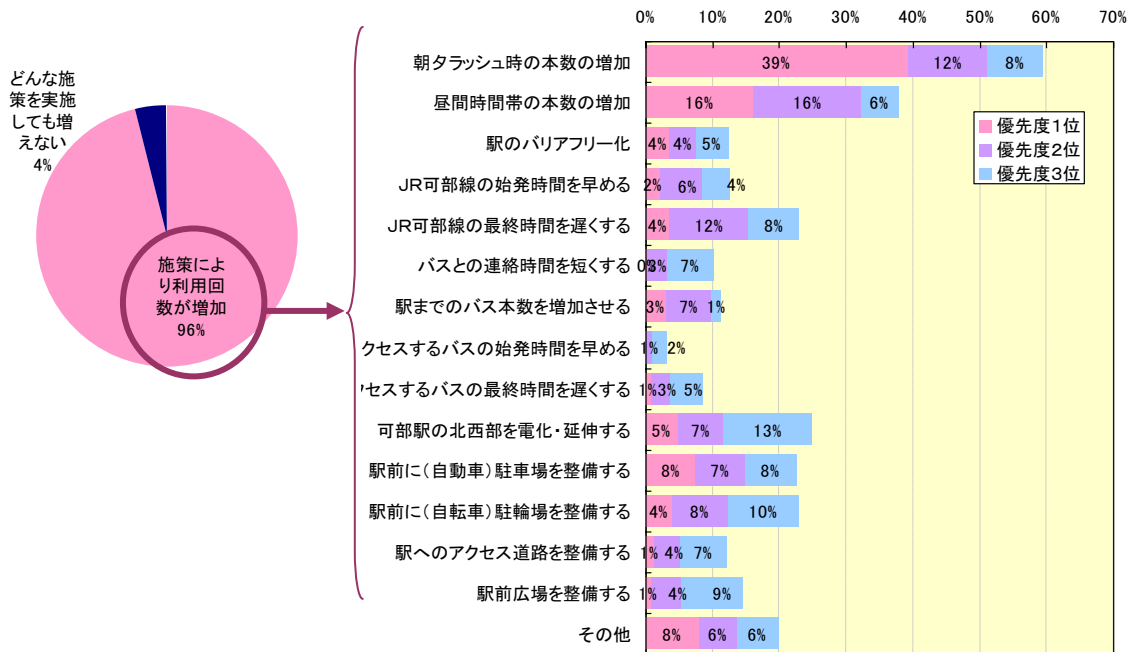


図 2.6 JR可部線の利用促進で有効な施策 (沿線企業アンケート)

JR可部線利用者アンケート



※次のとおり得点化

- ・ 優先度 1 位 : 3 ポイント
- ・ 優先度 2 位 : 2 ポイント
- ・ 優先度 3 位 : 1 ポイント

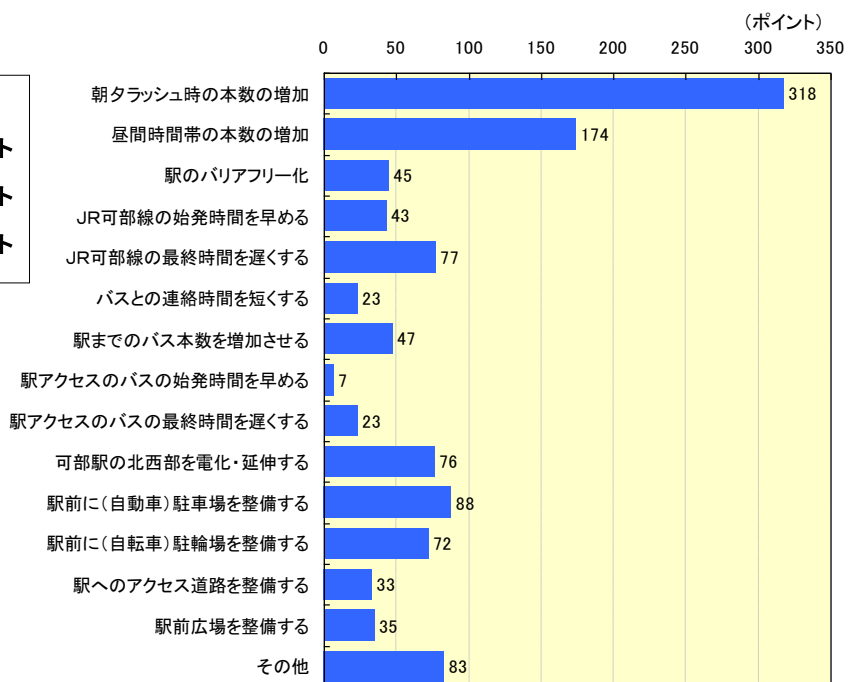


図 2.7 JR可部線の利用促進で有効な施策 (JR可部線利用者アンケート)

また居住地別の利用促進策を次頁に示す。

- 居住地別で見ると、河戸・亀山地区において「可部駅北側の電化延伸」が突出しているのが特徴的である。
- 一方、可部地区と佐東地区については、比較的傾向が類似しているが、可部地区では最終電車の時間を遅くする、佐東地区では駐車場・駐輪場整備の要望が比較的多い。

沿線住民アンケート

■ 居住地別

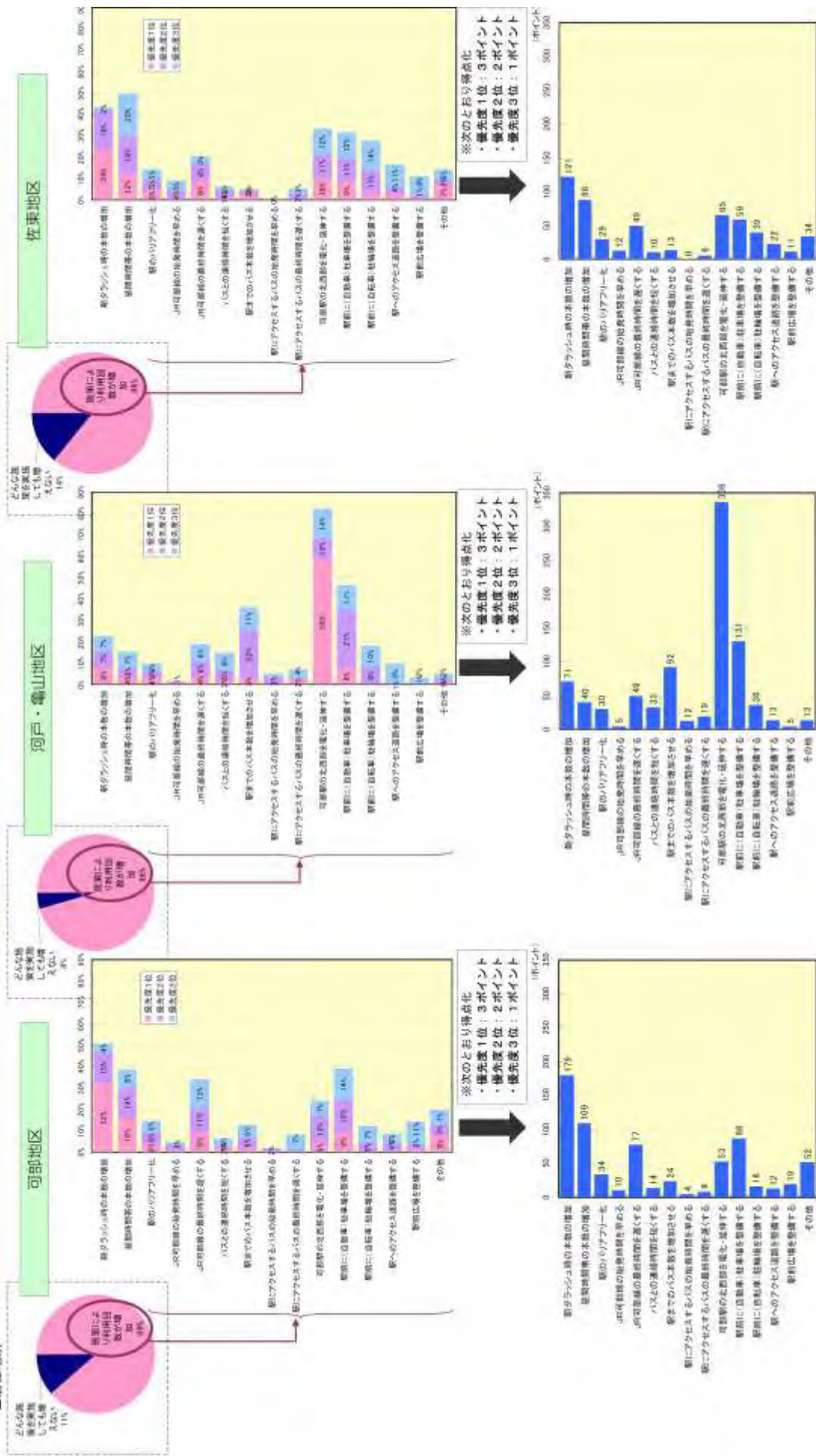
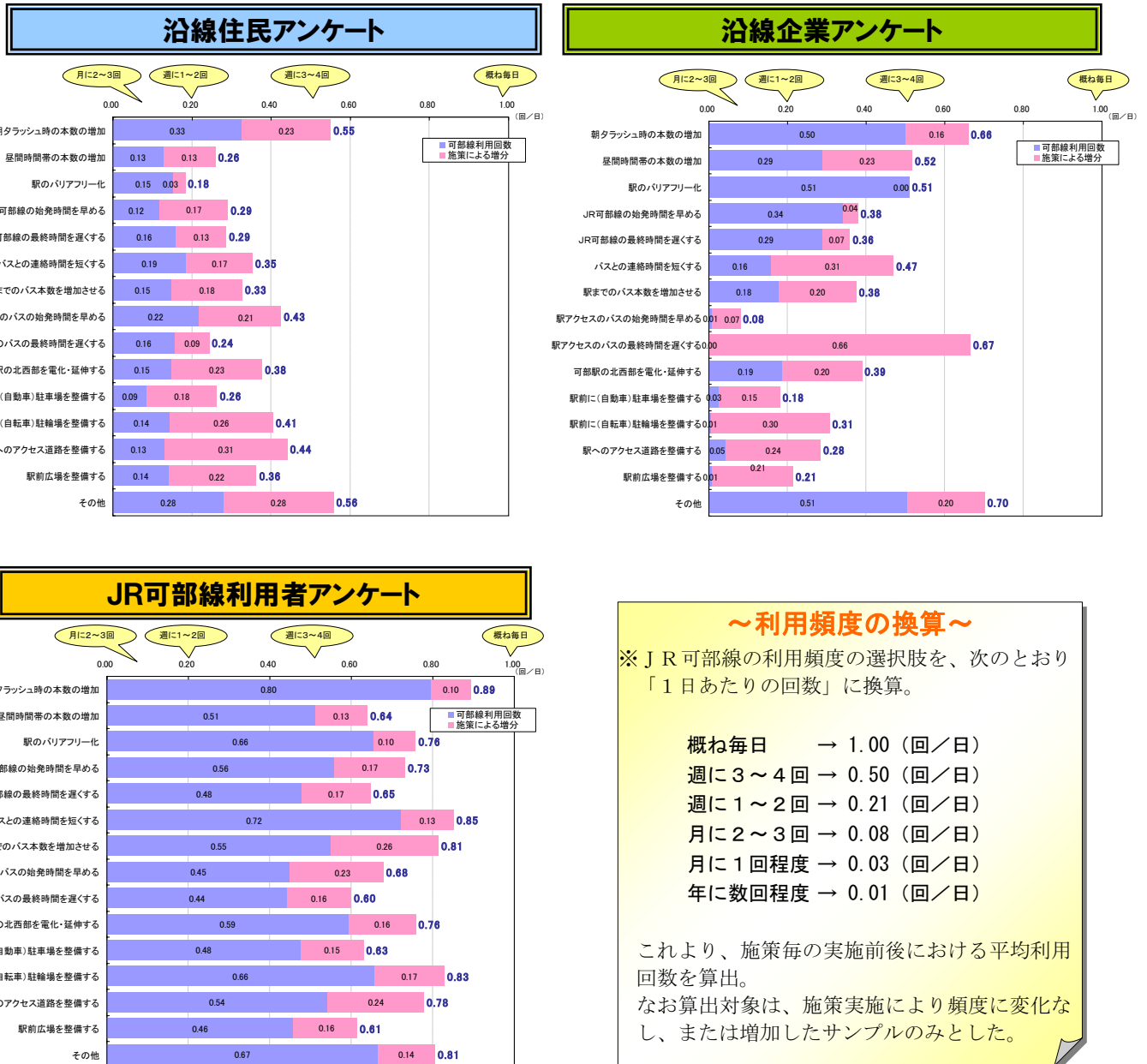


図 2.8 JR可部線の利用促進で有効な施策（居住地別）

(3) JR可部線の利用促進策と増加見込み

○沿線住民アンケートでは、大半の施策において、利用頻度の換算値が増加している。
 ○JR可部線利用者は、既に利用回数が多いため沿線住民ほどの増加はないが、駅までのバスやアクセス道路整備の増加が比較的多い。

※施策毎の利用増加数を示しており、互いの施策を比較するものではない。



※不明は除いて集計している。

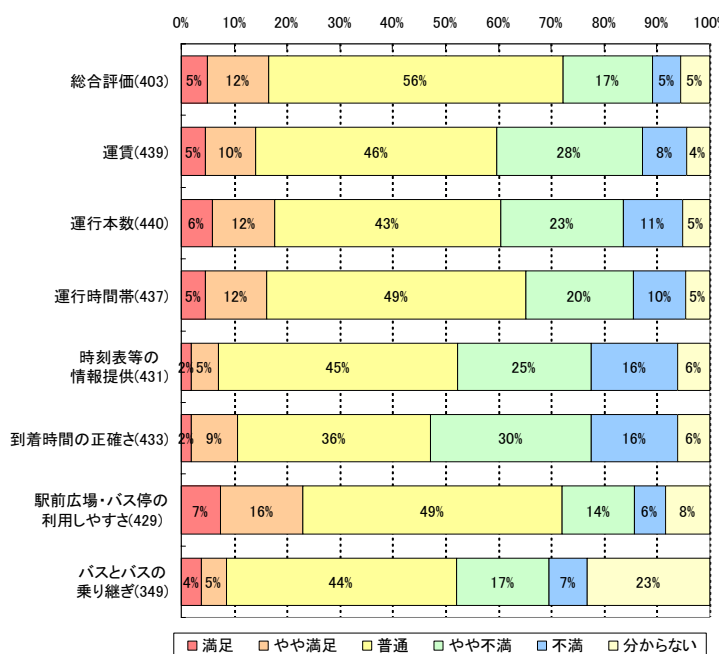
※施策毎に回答数が違うため、施策毎にどの程度の増加が見込まれるかを示すものであり、施策同士を評価するものではない。

図 2.9 利用促進施策の実施による利用回数の増分

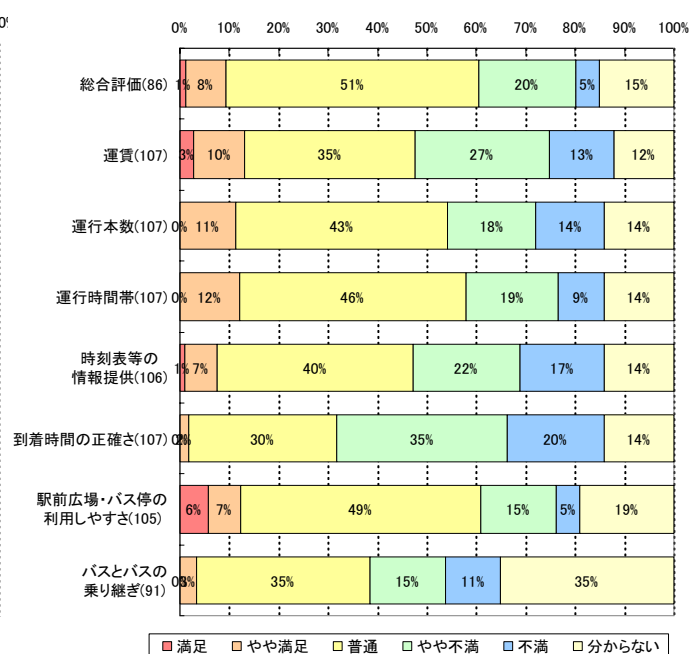
(4) 路線バスの満足度

○総合評価では、若干、「不満・やや不満」が「満足・やや満足」を上回っている。
 ○項目別では、特に「到着時間の正確さ（定時性）」や「情報提供」に対する不満が高い。

沿線住民アンケート



沿線企業アンケート



- ～満足度を確認した項目～
- ①総合評価
 - ②運賃
 - ③運行本数
 - ④運行時間帯
 - ⑤時刻表等の情報提供
 - ⑥到着時間の正確さ
 - ⑦駅前広場・バス停の利用しやすさ
 - ⑧バスとバスの乗り継ぎ

※不明は除く
 ※各項目の（ ）内は、サンプル数を示す

図 2.10 路線バスの満足度

(5) 路線バスの利用促進策

○有効な利用促進策としては、「朝夕および昼間での増便」や「駅までのバスの増便」、「最終時間を遅くする」、「ノンステップバスの導入」の意見が多い。
○特に沿線企業アンケートでは、「最終時間を遅くする」の項目への要望が多い。

沿線住民アンケート

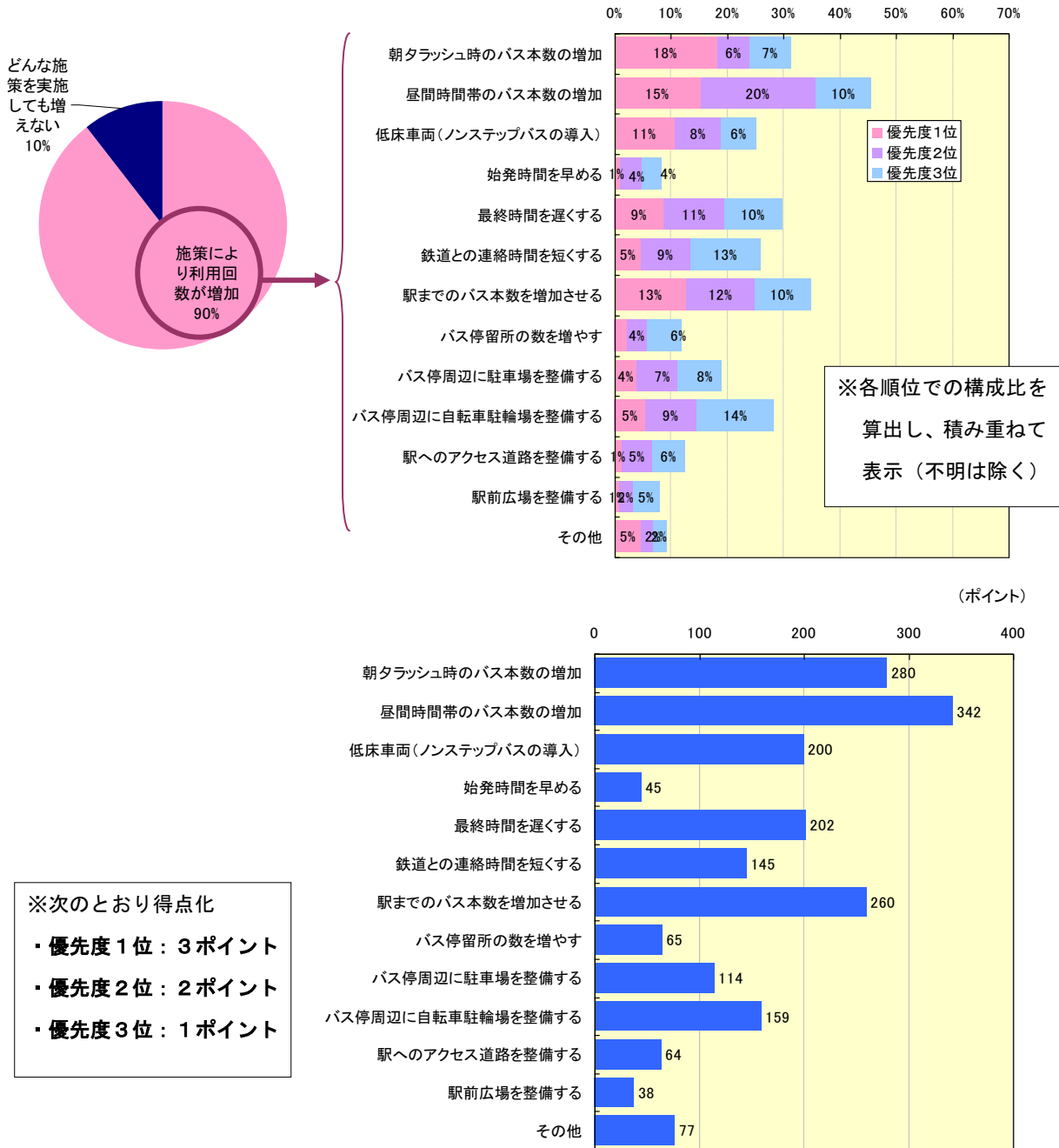


図 2.11 路線バスの利用促進で有効な施策(沿線住民アンケート)

沿線企業アンケート

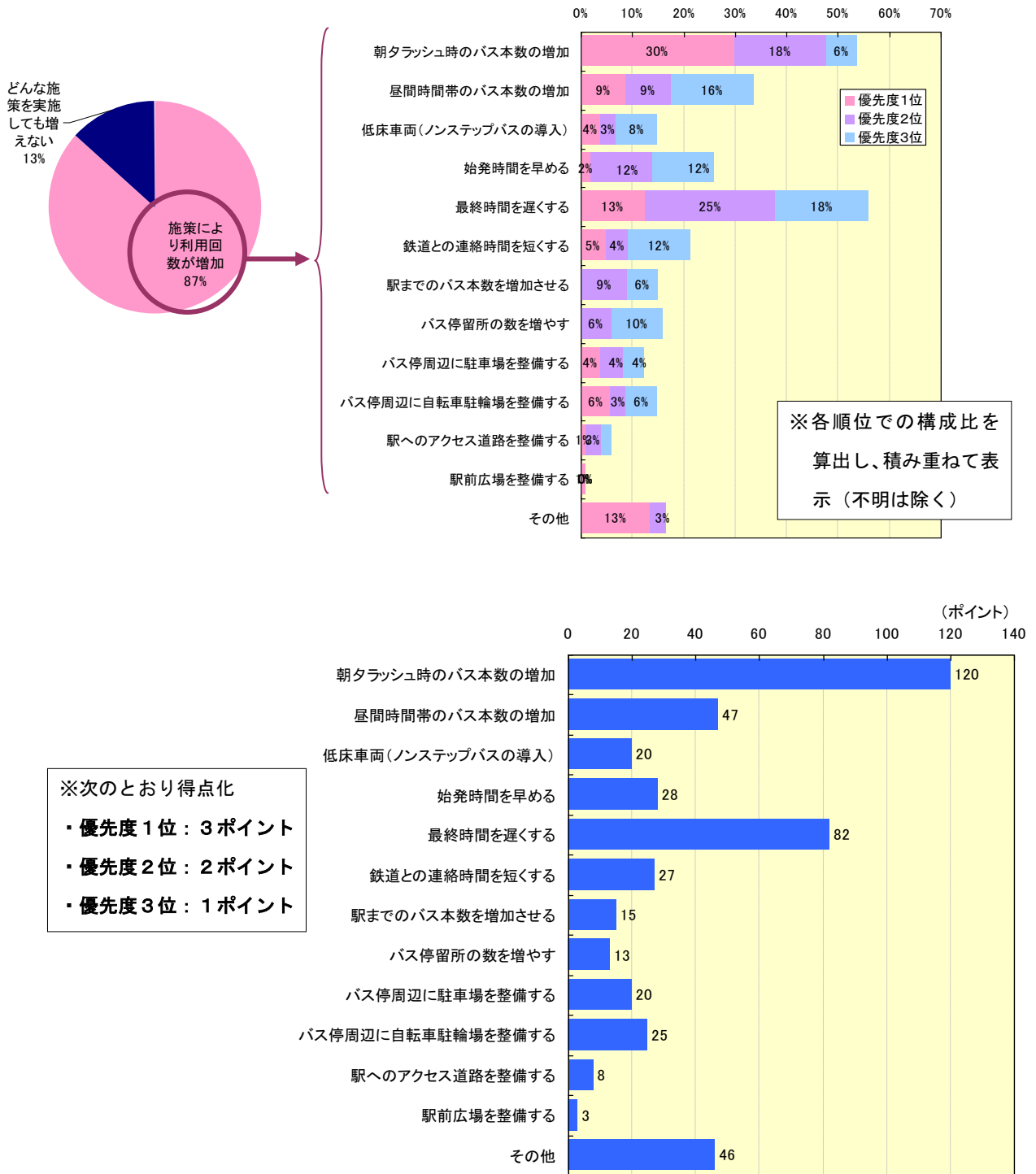


図 2.12 路線バスの利用促進で有効な施策（沿線企業アンケート）